

営農情報

さくらんぼの管理について

今年のさくらんぼの生育は平年より4～5日程度早く進んでいます。管理作業を徹底し、高品質生産に努めましょう。

佐藤錦は平年満開55日後が収穫開始目安。60日後が収穫盛期の目安になる
満開が4月24日頃の園地は 開始：6月18日頃 盛期：6月23日頃

■着色管理

①摘果

着果状況を見極めながら慎重に行う

②枝つり・誘引

下がり枝を上向きになるように誘引・枝と枝の間隔を確保

③新梢管理

主幹・主枝基部が混んで、日当たり不良、薬剤が通りにくい場合に実施
主幹・主枝基部の強い新梢、内向きの新梢を切り、先端付近は切らない
切り過ぎに注意し（適度に残す）、弱った樹は実施しない

④葉摘み

果実を育て、着色させるには葉の力が重要です

「早すぎ」「摘み過ぎ」は逆効果！大きい葉は、短果枝当たり4枚以上残す！

マメ葉（小さい葉）をとる

果実に挟まった葉をとる

枝を隠す葉をとる

⑤反射シート

着色始期頃（収穫2週間前頃）から地面の50%以上に設置

着色の仕上がりや収穫後半に高温が続く場合は除去する

■ さくらんぼ作業中事故注意

さくらんぼは高所での作業が多くなります。あせらず、無理のない作業をしましょう

- 脚立には必ずチェーン。最上段には上らない
- 雨除け施設のクランプ、パイプ、マイカ線に不具合がないか確認
- できるだけ複数人で作業をする
- 休憩・休息・水分補給をこまめにとる

■ 新型コロナウイルス対策の徹底

農作業中もできる限りマスクを着用しましょう

出荷調整などの室内作業は

- ① 定期的に換気を行いましょう
- ② 隣の人と距離をとりましょう
- ③ 会話は最小限にしましょう

手洗い、うがい、消毒を徹底しましょう

りんご黒星病対策強化のお願い！！

1 雨前防除を徹底する

○防除予定日に降雨が予想される場合は前倒しで防除を行う。

2 薬剤散布量を守る

- 発芽直前 350ℓ以上／10a
- 展葉期～落花直後 400ℓ以上／10a
- 5月中旬以降 **500ℓ以上**／10a

3 防除間隔を守る

○予防防除が主体となる為、雨前散布を基本とし、防除間隔は、**10日以上あけない。**

4 耕種的防除で菌密度を下げる

- 被害葉、被害果は見つけ次第摘み取り、適切に処分する。
- 被害葉の落葉処理をする。

5 薬剤の付着しやすい園地（樹）にする

○剪定により、薬剤が全体に付着しやすい樹にする。

※ JAてんどう病害虫防除暦を参考に対策強化をお願いします。